

最新 オフィスのスマホ事情
いまさら聞けない。
BYODと社有スマホ、
どちらがいいのか？



はじめに

ビジネスシーンで使用されるスマホ

近年、ビジネスシーンでスマホは多く使用されており、私たちにとって当たり前のツールとなってきています。社会にスマホが普及され始めたころ、個人が持つスマホを会社の業務に使用する「BYOD (Bring Your Own Device)」という言葉がよく使われました。しかし、セキュリティ面での課題があるなどの理由から、徐々にその利用割合は減っていきました。

一方、コロナ禍の急なりモートワークの開始などの影響から、それまで社外での業務を想定していなかった従業員もスマホが必要となり、個人所有のスマホをとりあえず業務で使用するケースが増えているようです。また、高額なスマホの導入コストを気にして、なかなか社有スマホに舵を切れないという話もあります。

本資料では、BYODの実態を解説し、効率的なデバイス管理方法とテクバンのデバイス管理ソリューションをご紹介します。

INDEX

はじめに	1	第3章 テクバンのデバイス管理ソリューション	
ビジネスシーンで使用されるスマホ		1. デバイス管理の手間を大きく削減するLCM (Life Cycle Management)	16
第1章 BYODはまだ推奨されているのか、最新企業 スマホ事情		2. 社内のあらゆるデジタルデバイスを可視化す るSS1 (System Support best1)	17
BYOD、BYAD、CYOD…BYODは進化していた	4	3. モバイルデバイスのセキュリティを高める	18
BYODのメリットとデメリットを確認する	5	VMware Workspace ONE	
潮流は「社有スマホ」	6	4. アカウント管理とSSOを兼ね備えたExtic	19
適切に管理されていれば、BYODも悪くない、し かし・・・	7	おわりに	20
社有スマホでも「管理」「セキュリティ」の課題 は残る	8	組織のIT資産管理の要は、デバイスを正しく管理 すること	
第2章 効率よく、社内デバイスを管理する方法		企業情報	
社内デバイスの課題は大きく4つある	10		
1. デバイス管理の手間を削減したい	11		
2. デバイスを適切に資産管理したい	12		
3. デバイスのセキュリティを高めたい	13		
4. 煩雑なID管理を簡略化したい	14		